

令和9年度における

「透析患者の通院への助成」についての陳情

1. 陳情の要旨及び理由

透析患者の平均年齢は 70.27 歳、透析導入平均年齢は 71.69 歳（共に 2024 年 12 月末・日本透析医学会調査）と高齢化をしております、日常生活や透析通院すら困難な患者が増えています。当会が 2023 年から 2025 年にかけて行った「透析患者の生活実態調査」によれば、県内のひとり暮らしの透析患者のうち 12.2%が自立できておりません。

自立できないひとり暮らしの高齢者は、本来は優先的に介護施設に入居できるはずですが、透析患者は難しいのが実態です。その主たる要因は、現状の介護保険制度では、生活支援と通院介助支援とのどちらかを手厚く受けてしまうと、もう一方の支援が薄くならざるを得ないことにあります。

つきましては大磯町におかれましては、介護報酬制度や医療保険での対応範囲に関して、市から国への働きかけを行っていただきますよう、また介護施設や自宅からの通院への助成が受けられますよう陳情いたします。

2. 陳情事項

- (1) 令和9年度予算策定に際し、透析患者の通院に係る費用に助成が受けられるようになること。

令和8年8月 3日

大磯町議会 議長
清田 文雄 様

住所 横浜市神奈川区台町7-2 ハイッ横浜 403号
氏名 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会
会長 大竹 忍
電話 045(321)4621

